



# ほけんだより

2022.7月号



認定こども園 世田谷ベアーズ  
看護師

今年の夏は暑くなりそうです。先月は発熱や発熱に伴って呼吸器症状を呈したり、腹部症状（下痢や嘔吐など）を呈したりするお子様がありました。先月末からその数はやや軽減傾向にありますが、そのような症状を呈するお子様が0(ゼロ)ではありません。引き続きご家庭での「あれ?」「いつもと違うなあ?」という保護者様ならではの観察眼を大切にいただき、早期発見! 早めの対処! に努めていただけたらと思っています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少しているとは言え、下げ止まりの状況が続いています。感染予防対策は引き続きおこなってまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今月のほけんだよりでは、先月実施した「歯科健診について」「感染予防対策マスク着用について」をお伝えします。

## 歯科健康診査について

去る6月14日(火曜)、園児全体の85%が受診し、世田谷デンタルオフィスクリニック中島航輝理事長先生の歯科健康診査を行いました。以下、結果を全体的な割合でお伝えします。

- 虫歯…3%
- クリーニング不足…3%
- 要観察の歯…2%
- 失活歯(打撲などで色の変化がある)…5%

中島先生からの総評として、全体的にとってもキレイにお手入れができています。虫歯の発生も少なくとてもGOODです!とのことでした。

以下、中島先生からのメッセージです。

「3歳児健診までの子ども達は、それ以降の子ども達に比べ口腔内の問題が起こることは少ないです。行政が行っている歯磨き教室や歯科健診で学ぶ機会が多いこともその理由の一つです。お絵描きでO(まる)が書けるようになった頃に歯ブラシを持って磨き始められると考えられています。基本的には親が磨いてあげなければならず、また7~8歳頃までは仕上げ磨きは必要だと言われています。子育ての最終目標は自立(自律)です。子ども達にしっかり歯磨き習慣を身に着くように根気よく関わり、自分で自分の身体を守るために歯磨きの仕方を学ぶ機会を設けることはとても大切です。定期的な歯科健診や歯科衛生士による歯磨き指導を受けることがとても重要です。8020運動推進です。

## マスク着用について

新型コロナウイルス感染症におけるマスク着用の議論が続いています。厚生労働省、文部科学省からの通達では、人との距離(2m以上が目安)が確保できる場合においては、マスクの着用は必要がなく、また、就学前の子どもに関してはマスクの着用を一律には求めないとしています。昨今の話題では、今夏に新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行の懸念も取りざたされています。世田谷ベアーズでは、登園時・降園時の2m以上の距離を確保することは難しいため、引き続き保護者様へのマスク着用を求めてまいります。何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

